

平成30年度当初予算 予算要求シート

事業区分： 重点 マスタープラン： 3つの挑戦 / 施策番号 4-2 . 5-3 . 局・課名： 市長公室企画部企画推進担当
 プラン： 低炭素

事業名	水素エネルギー社会構築事業	事業費(千円)	平成28年度決算額	平成29年度予算額	平成30年度要求額	
		17,707	13,196	13,326		
事業概要	【目的】	債務負担行為		期間	要求額(千円)	
	<p>本市が有する臨海部のエネルギー拠点としてのポテンシャルを活かし、産学公連携による推進体制のもと、次世代エネルギーとして期待される水素エネルギー市場の拡大を先導し、各種の水素関連の投資促進を通じて地域産業・経済の発展や雇用拡大を図るとともに、持続可能な環境にやさしいまちの実現をめざす。</p>	H ~ H				
		主な要求内容 (単位:千円)				
		項目	29年度予算	30年度要求額	内容・積算等	
		水素エネルギー協議会負担金	13,000	13,000	水素利活用モデル構築・検証等 (うち地方創生交付金対象事業費1000万)	
	旅費	196	326	東京32,600円×2人×5回		
	合計	13,196	13,326			
	【内容】	スケジュール(経過及び今後展開)				
	<p>堺市水素エネルギー社会推進協議会のプラットフォームのもと、堺市水素社会構築ロードマップ(H28.7策定)の構想実現に向け、公・民有地における水素ステーションなど水素を利活用した土地活用モデルの構築や、将来の海外からの水素供給も見据えた臨海部における水素ネットワーク拠点に向けた取組を進める。</p> <p>あわせて、市民・企業に対する水素の普及啓発、情報発信を行い、産学公による水素利活用を促進していく。</p>	【経過(～29年度)】	【30年度】	【今後予定(31年度～)】		
		堺市水素ロードマップの策定 水素利活用モデルの検討及び臨海部水素融通の可能性調査	水素利活用モデルの構築・検証及び臨海部の水素ネットワーク拠点に向けたビジョンの検討・作成	水素利活用モデルの実証等に向けた取組及び臨海部ビジョンに基づく企業誘致等		
【今年度要求のポイント】	その他 特記事項					
<p>堺市水素社会構築ロードマップに基づく「スマート水素エネルギータウン構想」のもと、産業用途などでの水素利活用モデルの構築・検証を行うとともに、「水素エネルギーコンビナート構想」となる臨海部の水素ネットワーク拠点(水素HUB)構築に向け、臨海部インフラ等の優位性や段階的なシナリオ、取組計画等を示すビジョンの作成を行う。</p>	<p>みんなの審査会対象外 関連事業:</p>					